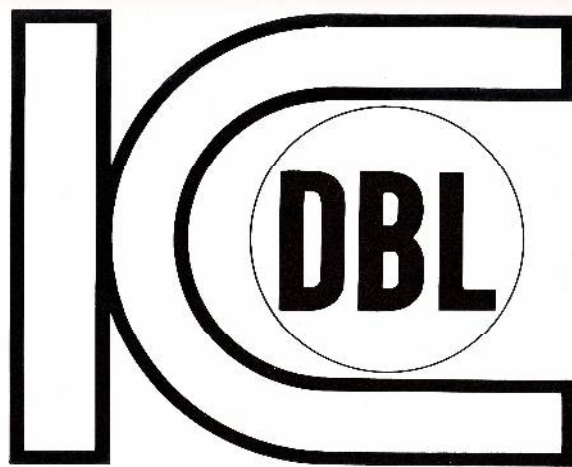


第33回
全神奈川ろう社会人軟式野球
秋季大会



2018年8月5日(日) いせはらサンシャイン・スタジアム
2018年8月12日(日) 中井中央公園野球場
2018年8月19日(日) サーティーンフォー相模原球場

リーグ戦

Aグループ

| 順位 | チーム | 勝 | 敗 | 引 | 得点 | 失点 | 千葉 | 新横浜 | 東京 | 関越 |
|----|-----------|---|---|---|----|----|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 千葉BBC | 2 | 1 | | 15 | 11 | | ● 1-4 | ○ 5-2 | ○ 9-5 |
| 2 | 新横浜メアウェーブ | 1 | 1 | 1 | 11 | 9 | ○ 4-1 | | △ 3-3 | ● 4-5x |
| 3 | 東京かしわクラブ | 1 | 1 | 1 | 8 | 10 | ● 2-5 | △ 3-3 | | ○ 3x-2 |
| 4 | 関越フェニックス | 1 | 2 | | 12 | 16 | ● 5-9 | ○ 5x-4 | ● 2-3x | |

Bグループ

| 順位 | チーム | 勝 | 敗 | 引 | 得点 | 失点 | 神奈川 | 湘南 | 湾岸 | 相模原 |
|----|------------|---|---|---|----|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 3 | 神奈川シャローム | 1 | 2 | | 15 | 26 | | ● 0-11 | ○ 14-7 | ● 1-8 |
| 1 | 湘南ヤンキース | 3 | 0 | | 34 | 0 | ○ 11-0 | | ○ 10-0 | ○ 13-0 |
| 4 | 湾岸煌ファイターズ | 0 | 3 | | 7 | 34 | ● 7-14 | ● 0-10 | | ● 0-7 |
| 2 | 相模原ろう野球クラブ | 2 | 1 | | 15 | 14 | ○ 8-1 | ● 0-13 | ○ 7-0 | |

優勝決定戦

Aグループ1位

千葉BBC

2 - 4

Bグループ1位

湘南ヤンキース

2018年8月5日(日) 伊勢原サンシャインスタジアム

第1試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 千葉BBC | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 1 |
| 新横浜メアウェーブ | 4 | 0 | 0 | 0 | x | | | 4 |

※時間切れコールド

千葉BBC: ●小宮、石橋一板倉
 新横浜メアウェーブ: ○田村一川

本塁打:
 三塁打:
 二塁打:

千葉BBCは初回、1番秋本が四球で出塁し、4番若月のタイムリーで先制する。その裏、新横浜メアウェーブは1番田村から三者連続四球で満塁のチャンスを作り、4番小川のタイムリーエラーで逆転し、春季大会のリベンジを果たした。敗れた千葉BBCは初回の失点が痛かった

第2試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 湘南ヤンキース | 2 | 8 | 1 | | | | | 11 |
| 神奈川シャローム | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 |

※3回10点差コールド

湘南ヤンキース: ○吉野、吉田一加藤
 神奈川シャローム: ●小佐野一中川

本塁打:
 三塁打: 源、吉田(以上湘南)
 二塁打: 平松、和田、池野2、勝又、加藤(以上湘南)

湘南ヤンキースは初回、3番加藤が四球で出塁すると4番源がタイムリー三塁打で先制する。2回に二塁打が5本など打順一巡の猛攻で圧勝する。敗れた神奈川シャロームは2番池田のヒットのみで打線が沈黙した。

第3試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|----------|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 関越フェニックス | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 2 |
| 東京かしわクラブ | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1x | | 3 |

※時間切れコールド

関越フェニックス: 菊地、小林、●青柳一青柳、石村
 東京かしわクラブ: 伊東祐貴、○毛塚一中原

本塁打: 赤塚(東京)
 三塁打: 成田(関越)
 二塁打: 小林(関越)

関越フェニックスは初回、竹村が四球で出塁し、3番小林、4番原のタイムリーで先制する。4回に東京かしわクラブは3番赤松のランニングホームランで同点にする。6回に2番伊東裕太が四球、盗塁で3塁に進み、ワイルドピッチでサヨナラ勝ち。関越フェニックスは負傷者続出が誤算だった。

第4試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|------------|---|---|---|---|----|---|---|---|
| 湾岸煌ファイターズ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 0 |
| 相模原ろう野球クラブ | 3 | 0 | 2 | 0 | 2x | | | 7 |

※5回7点差コールド

湾岸煌ファイターズ: ●秋本、星野一須藤
相模原ろう野球クラブ: ○生井一宮坂

本塁打:
三塁打: 青木(相模原)
二塁打:

相模原ろう野球クラブは初回、1番池田から3連続四球で満塁のチャンスを作り、4番関根のタイムリー内野安打で先制する。3回に8番青木のタイムリー三塁打、5回に代打久保のスライズでサヨナラコールド勝ち。湾岸煌ファイターズは秋本、星野が本来の力が出せず敗戦となった。

第5試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 千葉BBC | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | | | 5 |
| 東京かしわクラブ | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | | | 2 |

※時間切れコールド

千葉BBC: ○若月一板倉
湘南ヤンキース: ●小池一毛塚

本塁打:
三塁打:
二塁打: 板倉(千葉)

千葉BBCは初回、1番秋本の四球で出塁し、3番鶴岡のタイムリーで先制する。3-0で迎えた3回裏、東京かしわクラブは無死満塁のチャンスから4番細根の犠飛で1点差に迫る。5回千葉BBCが、4番板倉のタイムリー二塁打、5番川口の犠飛で勝負を決めた東京かしわクラブは最終回のチャンスに1本が出なかった。

第6試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 神奈川シャローム | 3 | 3 | 4 | 4 | 0 | | | 14 |
| 湾岸煌ファイターズ | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 7 |

※5回7点差コールド

神奈川シャローム: 小佐野、○池田一中川、中野
湾岸煌ファイターズ: ●宮内、須藤一星野

本塁打: 池田(神奈川)
三塁打: 島津(湾岸)
二塁打: 小佐野、箱山、池田(以上神奈川)

神奈川シャロームは初回、1番尾形が失策で出塁し、盗塁を決めると2番小佐野のタイムリー二塁打などで3点先制する。その裏、湾岸煌ファイターズは1番横山の四球を皮切りに7番島津のタイムリー三塁打などで逆転する。神奈川シャロームの池田は3回に二塁打、4回にランニングホームランを放つなど投打にわたる大活躍で神奈川シャロームが勝利を収めた

2018年8月12日(日) 中井中央公園野球場

第7試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|------------|---|---|---|---|----|---|---|---|
| 新横浜メーアウェーブ | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | | | 4 |
| 関越フェニックス | 0 | 0 | 0 | 4 | 1x | | | 5 |

※時間切れコールド

新横浜メーアウェーブ: 軽部、●玉田一小川
関越フェニックス: ○菊地一青柳

本塁打:
三塁打: 原、小佐野(以上関越)
二塁打: 菊地(関越)、井浪(新横浜)

0行進が続いてようやく動いたのが4回、新横浜メーアウェーブは5番鈴木が失策で出塁、7番松江の内野ゴロで先制するも、その裏、関越フェニックスは5番菊地の二塁打、7番小佐野の三塁打で逆転する。5回表満塁で林啓斗でし死球で押し出し、代打浅見弟の内野ゴロに2塁ランナーがホームを踏み同点にするもその裏、関越フェニックス4番原が三塁打を放ち、直後のワイルドピッチで生還しサヨナラ勝ち

第8試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|------------|---|---|----|---|---|---|---|----|
| 湘南ヤンキース | 0 | 3 | 10 | | | | | 13 |
| 相模原ろう野球クラブ | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 |

※3回10点差コールド

湘南ヤンキース: ○勝又一緒方
相模原ろう野球クラブ: ●池田、佐藤一生井

本塁打:
三塁打: 若月(湘南)
二塁打:

2回湘南ヤンキースは5番古川のヒットで出塁すると7番緒方、8番今野の連続タイムリーで3点先制する。3回に1番若月の三塁打を打つなど打順一巡の猛攻で3回コールド勝ち。敗れた相模原ろう野球クラブは勝又投手に1安打6三振と打線に元気がなかった。

第9試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 千葉BBC | 2 | 2 | 5 | 0 | | | | 9 |
| 関越フェニックス | 2 | 3 | 0 | 0 | | | | 5 |

※時間切れのためコールド

千葉BBC: 嶋形、○石橋一板倉
関越フェニックス: ●菊地、青柳一青柳、菊地、酒本

本塁打:
三塁打:
二塁打: 石橋(千葉)、浦川(関越)

シーソーゲームの展開になり、試合を決めたのは3回千葉BBC7番佐藤が失策で出塁し、関越フェニックスがワイルドピッチや失策を重ね5得点し、2勝1敗でリーグ戦を終えた。関越フェニックスは2回に6番浦川が二塁打を放つも代わった石橋を攻略できなかった。

第10試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 神奈川シャローム | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 1 |
| 相模原ろう野球クラブ | 5 | 2 | 1 | 0 | x | | | 8 |

※5回7点差コールド

神奈川シャローム: ●中川、池田一中野
相模原ろう野球クラブ: ○佐藤、生井、内野一二見

本塁打:
三塁打:
二塁打: 佐藤(相模原)

相模原ろう野球クラブは初回、1番池田から三者連続四球で満塁のチャンスを作り神奈川シャロームの失策などで5点奪い逆転する。2回、3回にも得点を重ね、コールド勝ち。神奈川シャロームは先発中川の乱調が誤算だった。

2018年8月19日(日) サークルフォー相模原球場

第11試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京かしわクラブ | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | | 3 |
| 新横浜メアウェーブ | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | | 3 |

※時間切れコールド

東京かしわクラブ:伊東祐貴、小池一毛塚

新横浜メアウェーブ:田村一玉田

本塁打:

三塁打:細根(東京)

二塁打:小川

3回東京かしわクラブは1番赤松、2番亀田の四球でチャンスを作り、4番細根のタイムリー三塁打、5番伊東祐貴のタイムリーで先制する。その裏、新横浜メアウェーブは3番鈴木ノヒットのヒットで出塁し、5番山田のタイムリーで1点返すと4回の満塁のチャンスで4番小川のタイムリー二塁打で同点にする。その後お互いに譲らず引き分けにおわった。チームによる混戦だったが、千葉BBCが決勝戦に進出となった。

第12試合

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 湘南ヤンキース | 0 | 8 | 2 | | | | | 10 |
| 湾岸煌ファイターズ | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 |

※3回10点差コールド

湘南ヤンキース:○加藤一池野

湾岸煌ファイターズ:●宮内一星野

本塁打:池野(湘南)

三塁打:能野(湘南)

二塁打:加藤、古川、勝又(以上湘南)

湘南ヤンキースは2回に6番能野の四球を皮切りに1番池野のランニングホームラン、2巡目の能野のタイムリー三塁打などで8点先制し、3回にも5番古川のタイムリー二塁打でコールド勝ちし、決勝戦進出を決めた。敗れた湾岸煌ファイターズは先発宮内ノ粘投するもヤンキース打線を止められなかった。

d

決勝戦

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 千葉BBC | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 湘南ヤンキース | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | x | 4 |

千葉BBC:●石橋一板倉

湘南ヤンキース:吉田、○勝又一加藤

本塁打:

三塁打:板倉(千葉)

二塁打:源(湘南)

湘南ヤンキースは2回、4番源が二塁打で出塁すると6番能野が相手の失策を誘い、先制点をあげる。5回にワイルドピッチで同点にした千葉BBCは6回に2番石橋の四球の後、3番板倉のタイムリー三塁打で勝ち越しする。その裏湘南ヤンキースは3番加藤が相手チームの失策にて出塁すると7番緒方のタイムリーエラーで逆転し、2年連続13回目の優位を飾った。敗れた千葉BBCは失策からみの失点が痛く、初準優勝となった。